

作品をムービーに書き出そう

D-project マニュアルプロジェクト

KEY WORD -Adobe® Premiere® Elements (アドビ プレミア エレメンツ) 書き出し MPEG AVI WMV QuickTime 圧縮

PremiereElements で編集した作品を、他の環境でも見られるように、一本のムービーに書き出します。書き出しの形式には、大きく分けて、インターネットなどを介してムービーをやりとりするために、画面の大きさを変えたり画像を圧縮（情報をまびき）してファイルサイズを小さくする形式（MPEG、WMV、QuickTime など）と、情報量が多くハードディスクで再生するための形式（AVI）があります。

圧縮を使用する設定によっては、ファイルサイズを小さくすることで画質が低下することがあるので、使い道やビデオを再生する環境を考えて形式を選びましょう。

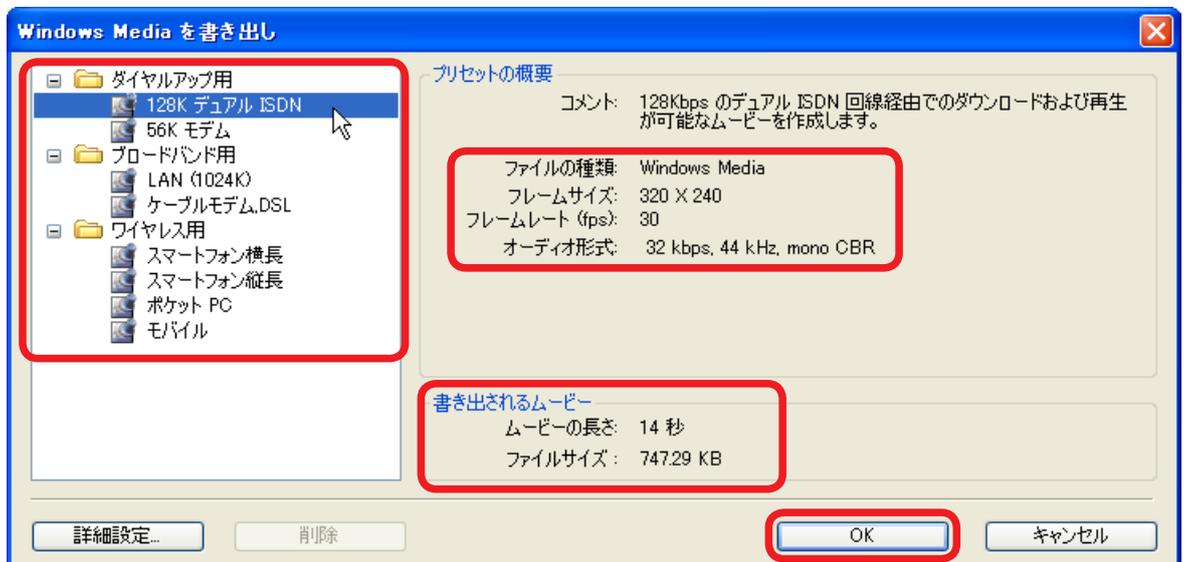
Adobe® Premiere® Elements で書き出せるおもな動画の形式

形式	ファイルサイズ	画質	用途
AVI (.avi)	大きい (5分で1GB程度)	圧縮されていない為、 高画質	ファイルサイズが大きくなるので、ハードディスクでの再生に適している。再度ビデオ編集用の素材などに利用できる。
MPEG (.mpg)	高圧縮→小さい 低圧縮→大きい	圧縮する（ファイルサイズが小さくなる）程度 低下する	設定によっては、DVDを作成するための高画質なビデオも生成できる。
Windows®Media形式 (.wmv)	高圧縮→小さい 低圧縮→大きい	圧縮する（ファイルサイズが小さくなる）程度 低下する	Microsoft Windows®MediaPlayer®などを使って再生できる。 再生環境や接続回線に応じた設定がある。
QuickTime形式 (.mov)	高圧縮→小さい 低圧縮→大きい	圧縮する（ファイルサイズが小さくなる）程度 低下する	QuickTime®などを使って再生できる。 再生環境や接続回線に応じた設定がある。

<インターネット形式 (MPEG,Windows Media,QuickTime) に書き出す>

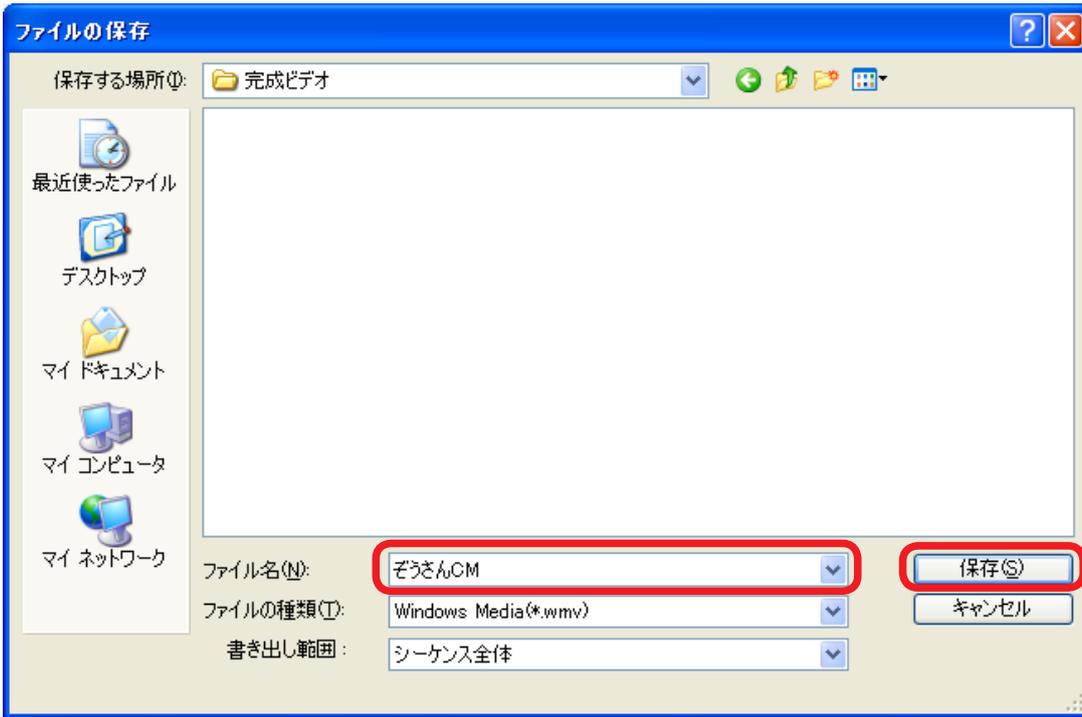
(例ー WindowsMedia 形式)

1. タスクバーの [書き出し] を長押しして、項目から「Windows Media」を選択します。
2. 設定画面から、インターネットを介してビデオを見る場合を考えて、想定される回線速度を選びます。このとき、設定によってフレームサイズやファイルサイズが変わることに注意しましょう。



書き出されるムービーのサイズを確認して、「OK」を押します。

4. 保存する場所とファイルの名前を決めて「保存」ボタンを押すとレンダリング（書き出し）が始まります。

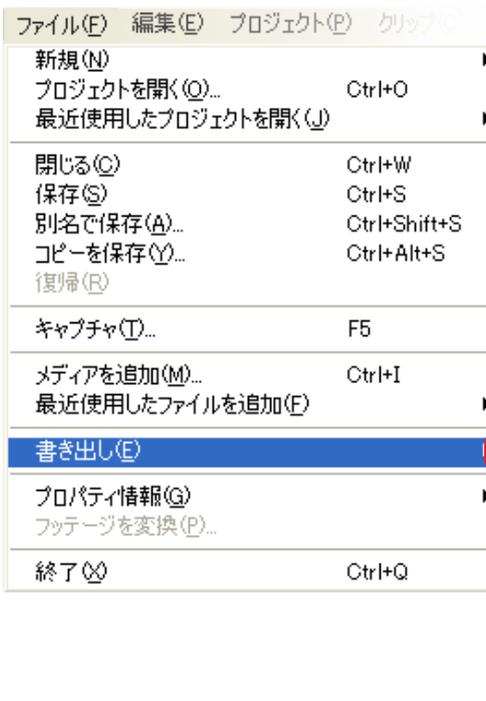


レンダリングが終わると、指定した場所にファイルが出来上がります。

MPEG や QuickTime 形式でも同様に、ムービーが再生される環境を考えて設定を決め、ファイルの書き出しを行います。



<ハードディスクで再生するための形式 (AVI 形式) に書き出す>



1. [ファイル]メニューの[書き出し]から、[ムービー]を選択します。
2. 保存先とファイルの名前を決めて、[保存]ボタンを押すと、レンダリング（書き出し）が始まります。
3. レンダリングが終わると、指定した場所にファイルが出来上がります。

